

金津創作の森美術館 2022年度 企画展ラインナップ!!



KOSEI KOMATSU EXHIBITION
光と影のモビール 森の夢

春 4/16(土) - 6/12(日)

「浮遊」への興味から、光と影を巧みに用いて、動きのある大規模なインスタレーションを展開している小松宏誠。自然からの発見と、素材やテクノロジーを駆使した繊細で美しい、次世代のモビールアートの世界をお楽しみください。

「Lifelog_シャンドリア」 ©Kosei Komatsu

Fermentation Tourism Hokuriku
～発酵から辿る北陸、海の道

秋 9/17(土) - 12/4(日)



発酵デザイナーの小倉ヒラクが、47都道府県を実際に巡り、取材して出会った多種多様な発酵食品を紹介。発酵から見えてくる、長く受け継がれてきた人々の営みや、食にとどまらないその土地の文化や個性を再発見していきます。全国に加え、北陸の地に根づく発酵文化に目を向け、体系化させます。食とアートを掛け合わせた新しい展覧会をお見せします。

造形作家 玉田多紀展
—呼吸するダンボール

夏 7/2(土) - 8/28(日)



「His problems」2020 ©Taki Tamada

ダンボールでいきものを制作している玉田多紀。捨てられる資材に命を吹き込み、「新たな再生」をテーマに、生命感あふれる動植物として蘇らせます。本展では、動物園に迷い込んだようなユニークな展示やワークショップを通して、身近なダンボール素材の新たな可能性を、美術的に紹介します。

アートドキュメント 2022
西野壮平 写真展
—北陸街道を巡る(仮称)

冬 2023.1/28(土) - 3/5(日)



「Mountain line Mt. Fuji」2021 ©Shoji Nishino

「Diorama Map」シリーズの制作を続ける写真家・西野壮平。自ら都市を歩き撮影した膨大な写真を、一枚一枚貼り付けて制作したジオラマは、上空から俯瞰したような記憶の地図として作品化します。今回新幹線延伸にちなみ、福井から京都へと北陸街道を巡る新作に挑みます。

創作の森の応援をお願いします!!
友の会/メセナ会
入会のご案内

一般向けの友の会では、企画展の招待券やレストラン・ドリンクチケットのプレゼント、森のアートツアーやワークショップ参加など、楽しい特典がいっぱいです。法人向けのメセナ会は、企業PRにつながる広告として活用できます。この機会に、ぜひご入会ください。



パンフレット表紙イラスト/「みんなの森」さいとうかおり(あわら市出身)

入会の申し込み方法

郵便振替、または財団事務局にて年会費を納入ください。追って特典をお送りします。詳しくはホームページをご覧ください。

友の会	個人	2,000円
一般	ファミリー	3,000円

メセナ会	法人	ダイヤモンド	100,000円
		プラチナ	50,000円
		ゴールド	30,000円
		シルバー	20,000円
		ブロンズ	10,000円

美術館アートコア工事のお知らせ

- 改修工事のため3月末まで美術館の一部を休館しています。休館に伴い、冬の企画展は開催していません。
- ★レストラン&ショップアンビションは、通常通り営業しております。どうぞご利用ください。

新型コロナウイルス感染症に関する対応について

- 発熱や咳など、風邪の症状が見られる人および、体調の優れない人はご来館をお控えください。
- マスクの着用による咳エチケットや手洗い、消毒液による感染防止対策に、ご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染状況などの理由により、事業の開催中止や変更する場合があります。最新情報をホームページやお電話などでご確認の上、ご来館ください。



当館HPはこちらから

- 月曜休館(祝日の場合開館、翌平日休館)
- (公財)金津創作の森財団事務局 TEL.73-7800 <http://sosaku.jp/>
- アンビション(レストラン&森の結婚式) TEL.73-4141



「あそぼっさ」プレオープン

◆2月19日(土)、20日(日) 吉崎小学校



一般社団法人蓮如の里吉崎は、休校中の吉崎小学校を使い地域を盛り上げようと、全天候型施設の「あそぼっさ」を整備しました。この施設は、天候に左右されず子どもたちが自由に遊べる場所を提供したいとの思いから作られたものです。

この2日間で市内外から延べ213人の親子連れが参加。広い体育館や教室で、さまざまな遊具に触れながら思う存分遊んでいました。

正式なオープンは、4月中を予定しています。

映える写真を撮りたい!

◆2月25日(金) 茶楽かぐや あわら温泉美松店



市の観光協会が初心者向けの写真の撮り方講座を開催しました。「食事メニューをかつよく撮るコツ!」と題し、講師に龍宮写真館の小林智映さんを迎え、事前に申し込みをした10人が参加しました。

この講座は、撮影テクニックを学びたい人や映える写真を撮りたい人向けに開催され、参加した人はスマートフォンやカメラを片手に試行錯誤しながら写真を撮っていました。

講師の小林さんは「写真に正解はない。構図を考え、伝えたいことやストーリー性を大事にしてほしい」と話していました。

まちかど graffiti では、広報係が取材した「あわらの話題」をお届けします!

※ 新型コロナウイルス感染症防止対策を行った上で、取材しています。



おめでとうございます

◆2月14日(月) 市役所



ふくい結婚応援協議会が婚姻届を提出した人に「いちほまれ1kg」を渡す「結婚機運醸成キャンペーン」を行いました。対象は、2月2日から3月3日までの期間で、県内の市役所や町役場が開庁している時間に提出された皆さんです。あわら市で、開庁時間内に記念品を手にした第1号は磯部夫婦です。

2人は「このようなものをもらえて大変うれしい。これからも仲良く過ごしていきたい」と笑顔で話してくれました。

安全・安心な宿泊施設を目指す

◆2月17日(木) 嶺北あわら消防署



防火安全に関する基準に適合した宿泊施設に表示できる「適マーク」が、あわら温泉旅館「美松」に交付されました。市内では、6例目となります。

これは、収容人数30人以上で3階建て以上のホテルや旅館が対象で、防火管理や建築構造などを細かく審査し、基準を満たすと交付されるものです。

同旅館の前田社長は「今後も防火設備の維持に努めていきたい」と話していました。